令和７年度９月号　江戸川区立春江中学校　学校だより　　令和７年９月１日発行

# 久遠

【は】っけん・気付く　【ル】ートを考えつながる　【え】がおを創り出す

春江中学校教育目標

○　自ら進んでよく学び、協力して働く生徒
○　規律を守り、責任を重んずる生徒
○　心身ともに健康で、思いやりのある生徒

## 努力は無駄にはならない

校長　　横枕　耕史

夏休みが終わり、２学期が始まりました。１学期終業式では、勉強を「自転車の旅」に喩え、上り坂では苦しくてもこぎ続ければ頂上にたどり着けること。下り坂では楽に進めても油断すれば転んでしまうこと。追い風や向かい風、晴れや雨の日があるように、勉強も日々調子の良し悪しがあるということ。「夏休みは、自分のペースで『**勉強サイクリング**』を楽しむチャンスだ」と話しました。

子どもたちにとって、長期の学校休業日は学習や部活動、家庭での体験を通じて大きく成長する好機であると同時に、その過ごし方に迷いや葛藤を抱く期間ともいえます。「もっと計画的に勉強すればよかった」「思ったほど有意義にできなかった」と感じている生徒も少なくないでしょう。

よく『**努力は必ず報われる**』と語られます。しかし、現実には全ての人が**努力したからといって、その成果が必ず保証されるわけではありません**。入試や大会、発表会など、結果には運や環境、他者との相対的な評価といった、本人の力だけではどうすることもできない要素が影響することがあります。したがって**「努力＝成功」という単純な式は成り立ちません。**この現実を正しく理解した上で、子どもたちには、**努力は決して無駄にはならない**ことを認識させる必要があります。なぜなら、努力には、結果とは別の形で蓄積される『**価値**』や『**意義**』があるからです。

第一に、**努力は基礎的な力の積み重ねとなる**ことです。たとえば学習において、英単語の暗記や計算練習は、すぐに成果に直結しない場合もありますが、知識や技能は確実に子どもの中に残り、他教科や次の学習段階に移行する際の大切な基盤となります。**努力は『投資』**であり、必ず将来のどこかで回収可能な**『資産』**となるはずです。

第二に、**努力は選択肢を広げる力**を持ちます。成績や技能などが高まれば、受験や進路を検討する際により多くの選択肢が増え、**選べる未来が増える**ことになり、努力の実りといえるでしょう。

第三に、**努力は『信頼』という社会的価値を育む。**凡事徹底で約束事を守ったり、課題を期限までにやり遂げたり、家庭での手伝いを続けたりと努力を伴う行為は、周囲の人から「この子は任せられる」という評価を得て信頼されます。信頼は目には見えませんが、将来にわたり人とのつながりを支える重要な財産になります。

このように考えると、「夏休みを十分に生かせなかった」と後悔する体験でさえ、意味を持ちます。計画を立てなかったために宿題が滞った経験は、「次はどのように取り組めばよいか」を学ぶ材料となります。失敗や後悔は、決してマイナスだけで終わるのではなく、ポジティブに変換すれば、むしろ**次の改善を生み出す契機**となるのです。

子どもたちには「**努力は成功を保証しない。しかし、努力は必ず自分の中に残り、次の挑戦を支える力になる**」という現実を伝えたいと思います。そして、重要なのは、「**今日から小さく始める**」ことです。完璧を求めて立ち止まるのではなく、英単語を十個覚える、計算を五問解く、本を数ページ読むといった小さな努力の積み重ねから再出発することが、確実な成長につながります。

我々大人も、努力が必ず報われるとは限らない現実を知っています。それでも子どもたちに努力の価値を伝えるのは、**努力が人生における自由と信頼を育み、未来の可能性を広げる力を持っている**からです。どうかご家庭でも、結果だけに一喜一憂せず、お子さんが日々積み重ねている小さな努力に目を向け、認めていただければと存じます。